

愛知県のトックリゴミムシ類

長谷川道明*・蟹江 昇**・戸田尚希***

Oodine carabid beetles (Coleoptera, Carabidae) from Aichi Prefecture, central Japan

Michiaki Hasegawa*, Noboru Kanie** and Naoki Toda***

はじめに

トックリゴミムシ類は、オサムシ科アオゴミムシ亜科トックリゴミムシ族に属する一群で、国内には4属8種が分布する。池の周辺や低湿地などの水辺に生息し、しばしば潜水行動を行うなど、ゴミムシ類の中では、最も水際の湿潤な環境に適応したグループである。そのため、ゲンゴロウ類などの水生甲虫類と同様に近年の水辺環境の悪化により減少が著しく、環境省の第4次レッドリスト（2012年公表）では、オオヒラタトックリゴミムシ *Brachyodes virens* (Wiedemann, 1823) が絶滅危惧IA類に、オオトックリゴミムシ *Oodes vicarius* Bates, 1873 とエチゴトックリゴミムシ *O. echigonus* Habu et Bata, 1960 が準絶滅危惧種に新しく加えられた。また、ニセトックリゴミムシ *O. heloplodes* Habu, 1956, トックリゴミムシ *Lachnocrepis prolix* (Bates, 1873), ヤマトトックリゴミムシ *L. japonica* Bates, 1873 の3種についても、複数の都道府県でレッドリストにあげられている（日本のレッドデータ検索システム <http://www.jpnrd.com/>, 2014.4.8 更新）。

愛知県下からは、オオトックリゴミムシ（穂積, 1961; 岩崎・蟹江, 1990）、ヤマトトックリゴミムシ（岩崎・蟹江, 1990; 大平ほか, 1996; 蟹江, 1996; 豊田市, 2005, 2015; 蟹江, 2001）、トックリゴミムシ（岩崎・蟹江, 1990; 豊田市, 2005, 2015）の3種の記録があ

るが、いずれの種も既知記録は少なく、県内での分布と現在での生息状況についてよくわかっていない。しかし、トックリゴミムシ類は良好な水辺環境の指標として有用な存在であり、全国的に減少が指摘されている昆虫であることから、愛知県下においても過去の分布記録の整理と現在の生息状況の把握が必要である。以上のような背景から筆者らは愛知県内のトックリゴミムシ類について、既知記録を集約するとともに、筆者らがこれまでに県内各所の調査で蓄積してきた標本及び豊橋市自然史博物館に収蔵されている愛知県内産標本について調査、整理したので報告する。

材料と方法

蟹江、戸田の個人コレクション及び、豊橋市自然史博物館収蔵標本について調査した。同定については、Habu（1956）、中根（1986）、森（2011）を参考にした。検視標本に記した「TMNH-I-」ナンバーは、豊橋市自然史博物館の登録番号で、このナンバーを記した標本は、豊橋市自然史博物館に保管されていることを示す。また「KNE」で示した標本は蟹江の、「NTC」で示した標本は戸田のもとにそれぞれ保管されていることを示す。

* 豊橋市自然史博物館。Toyohashi Museum of Natural History, 1-238 Oana, Oiwa-cho, Toyohashi, Aichi 441-3147, Japan.

** 瀬戸市西洞町 117. 117 Nishibora-cho, Seto 489-0837, Japan.

*** 名古屋市中区平子 2-24-16. 2-24-16 Hirako, Minami-ku, Nagoya 457-0001, Japan.

原稿受付 2014年12月9日。Manuscript received Dec. 9, 2014.

原稿受理 2014年12月17日。Manuscript accepted Dec. 17, 2014.

キーワード: エチゴトックリゴミムシ, オオトックリゴミムシ, ヤマトトックリゴミムシ, トックリゴミムシ, 愛知県, 絶滅危惧種.

Key words: *Oodes echigonus*, *Oodes vicarius*, *Lachnocrepis japonica*, *Lachnocrepis prolix*, Aichi Prefecture, threatened species.

結 果

豊橋市自然史博物館に収蔵されている穂積俊文博士の寄贈標本（以降、「穂積コレクション」と記す）の調査から、1942年に名古屋市内で採集されていたエチゴトックリゴミムシの標本を確認した。これにより愛知県内から分布が確認されたトックリゴミムシ類は2属4種となった。

オオトックリゴミムシについて2産地、ヤマトトックリゴミムシについて7産地、トックリゴミムシについて6産地を追加記録した。以下に愛知県内のトックリゴミムシ類について、既知記録と検視標本を記し、特記事項について述べる。

1) エチゴトックリゴミムシ

Oodes echigonus Habu et Baba, 1960 (第1図)

(検視標本)

1 ♀ (TMNH-I-28103), 名古屋市港区土古町, 24-IV-1942, 穂積俊文採集; 1 ♂ (TMNH-I-28104), 同地, 6-V-1942, 穂積俊文採集。

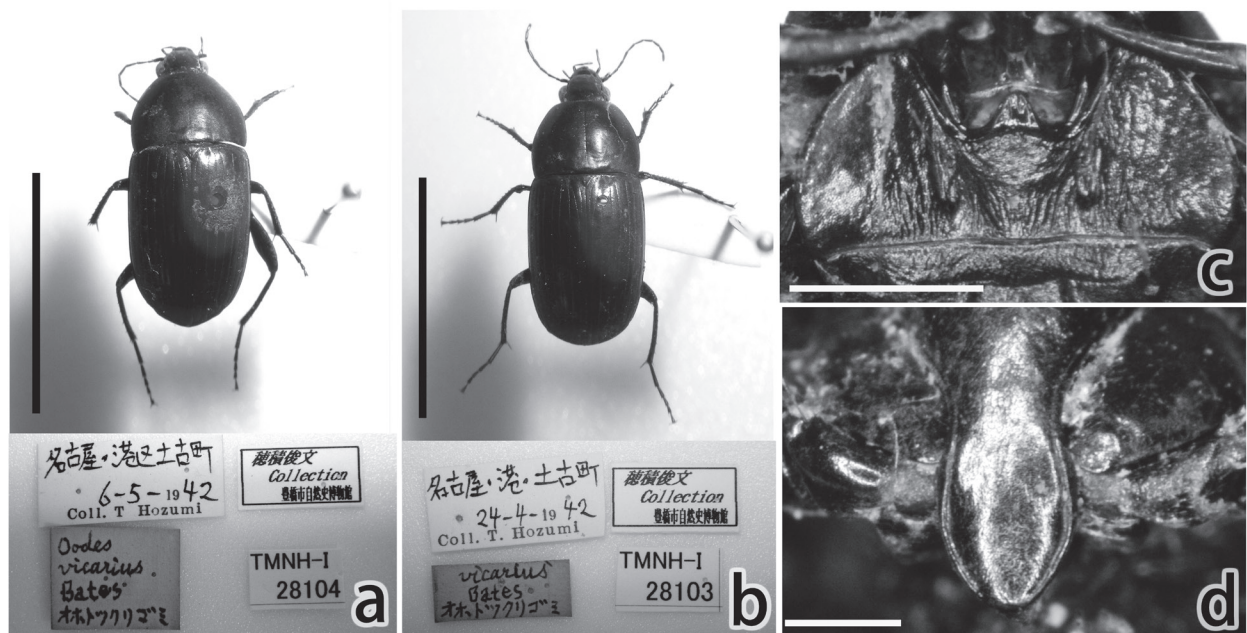
愛知県からはこれまで本種の記録はなく、県下から初めての報告となる。

エチゴトックリゴミムシは, Habu and Baba (1960) によって新潟県潟町産の標本に基づいて記載された。

オオトックリゴミムシに類似するが、下唇中央歯の先端が陥入しないこと（第1図c）、前胸腹板突起が縁取られること（第1図d）等によって区別できる（Habu and Baba, 1960; 中根, 1986; 森, 2011）。青森, 秋田, 宮城, 新潟, 栃木, 茨城, 千葉, 東京, 滋賀, 兵庫の各県から知られるが（Habu and Baba, 1960; 森, 2011）、オオトックリゴミムシに比べると分布は局所的な傾向がある。

1942年当時、名古屋市港区土古町には、沼地であったものを農地化すべく、中学生が勤労奉仕に動員されていた旧制愛知県立中学校の共同農場があり、標本はそこで採集されたものである（高橋, 2001）。現在付近にトックリゴミムシ類が生息できるような環境は残されていない。

穂積（1961）は、「名古屋市中川区土古町」からオオトックリゴミムシを報告しているが、この報告には採集年月日や個体数の記述がない。採集地名が上記標本のラベルとは異なるが、「中川区土古町」は地名の誤りであり、上記の2点の標本には、いずれにも「オオトックリゴミムシ」の同定ラベルが付けられていること、データラベルは、上記の同定ラベルに比べて明らかに紙が新しく（第1図a, b）、後になって誤記に気づき、付け替えられたと推測できること、穂積コレクションには他に愛知県産のオオトックリゴミムシの標本がないことから、この2点の標本は穂積（1961）の証拠標本であると考えられ、本種を誤認して報告した



第1図. 名古屋市産エチゴトックリゴミムシ。

a, ♂標本とそのラベル; b, ♀標本とそのラベル; c, 下唇中央歯; d, 前胸腹板突起。スケール, a, b: 10 mm; c, d: 0.5 mm。

とみなしてよいと思われる。

2) オオトックリゴミムシ

Oodes vicarious Bates, 1873 (第2図 a)

(検視標本)

1 ♂ (TMNH-I-28106), 豊橋市雲谷町深山池, 16 ~ 26-V-1996, 長谷川道明採集; 1 ♀, 尾張旭市旭ヶ丘町濁池, 20-IV-1998, 蟹江昇採集 (KNE); 4 ♂♂, 1 ♀, 同地, 15-VII-2000, 蟹江昇採集 (KNE); 2 exs, 同地, 11-V-1999, 戸田尚希採集 (NTC); 2 exs, 同地, 12-IX-1999, 戸田尚希採集 (NTC).

(文献記録)

犬山市入鹿池, 小牧市大草白地池, 小牧市大草・太良上池, 尾張旭市大道平池 (岩崎・蟹江, 1990).

3) ヤマトトックリゴミムシ

Lachnocrepis japonica Bates, 1873 (第2図 b)

(検視標本)

3 ♂♂ (TMNH-I-28109 ~ 28111), 豊橋市石巻中山町, 3-VI-2011, 長谷川道明採集; 2 exs., 田原市中山

町, 10-X-2009, 矢崎充彦採集 (NTC); 1 ex., 豊田市東広瀬町ヲゴソ, 7-VI-2007, 矢崎充彦採集 (NTC); 4 ♂♂ (TMNH-I-28112 ~ 28115), 春日井市細野町, 10-VI-2013, 吉田哲朗採集; 1 ♂, 瀬戸市定光寺, 10-VIII-1984, 蟹江昇採集 (KNE); 1 ex., 名古屋市中区本丸, 25-VII-2009, 矢崎充彦採集 (NTC); 5 exs., 名古屋市緑区神沢池, 3-VI-2012, 戸田尚希採集 (NTC).

(文献記録)

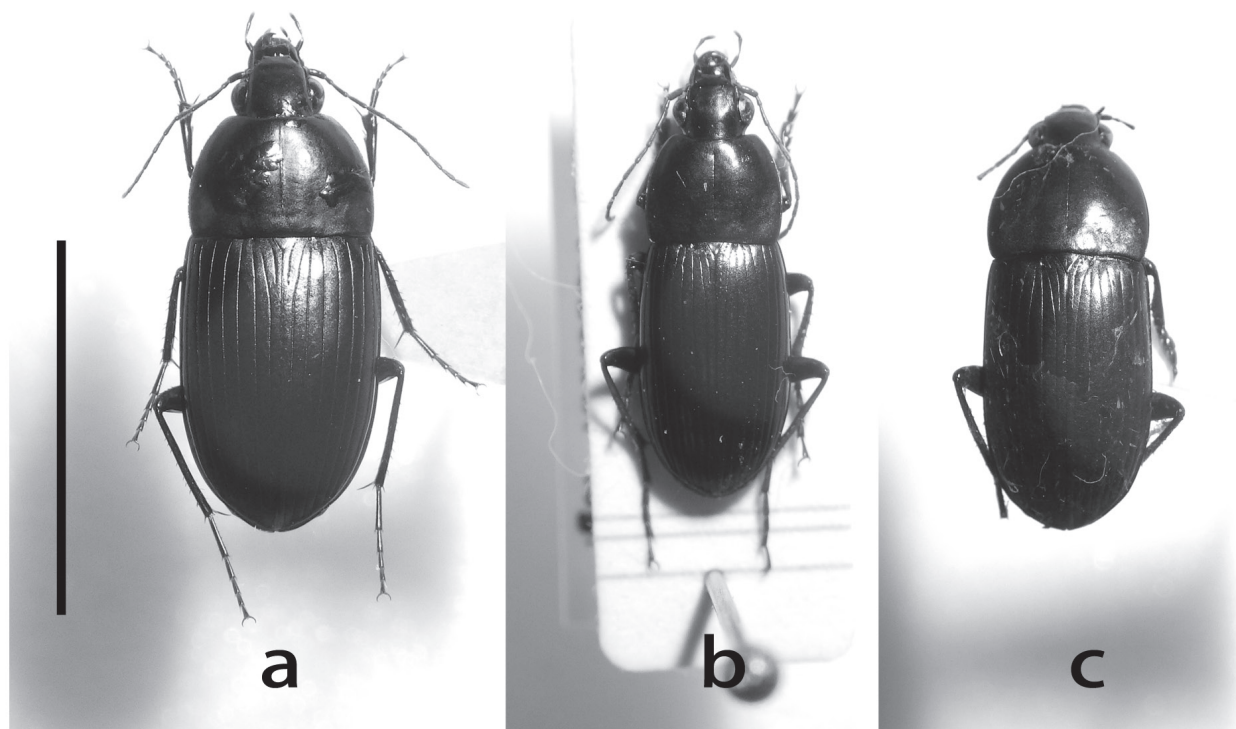
瀬戸市定寺, 平和町法立 (岩崎・蟹江, 1990); 設楽町東納庫 (大平ほか, 1996); 稲武町大野瀬 (蟹江, 1996); 豊田市山中町, 豊田市寺部池 (豊田市, 2005); 旭町小渡, 時瀬 (蟹江, 2001); 豊田市宇連野町, 豊田市羽布町三河湖 (豊田市, 2015).

4) トックリゴミムシ

Lachnocrepis prolixa (Bates, 1873) (第2図 c)

(検視標本)

1 ex., 田原市中山町, 10-X-2009, 矢崎充彦採集 (NTC); 1 ex., 豊田市伊熊町, 21-VI-2014, 矢崎充彦採集 (NTC); 1 ex., 日進市赤池町箕ノ手, 6-IX-2012, 矢崎充彦採集 (NTC); 3 exs., 日進市岩崎町新ラ田, 7-



第2図. 愛知県産トックリゴミムシ類.

a, オオトックリゴミムシ; b, ヤマトトックリゴミムシ; c, トックリゴミムシ. スケール: 10 mm.

IX-2013, 矢崎充彦採集 (NTC); 4 ♂♂, 9 ♀♀, 尾張旭市旭ヶ丘濁池, 2-VI-1994, 蟹江昇採集 (KNE); 1 ♂ (TMNH-I-28116), 1 ♀ (TMNH-I-28117), 弥富町鍋田干拓, 8-VIII-1987, 間野隆裕採集; 1 ex., 弥富市上野町, 29-IV-2009, 戸田尚希採集 (NTC).

(文献記録)

瀬戸市定寺, 尾張旭市旭ヶ丘濁池 (岩崎・蟹江, 1990); 名古屋市守山区志段味沢田 (吉鶴ほか, 2008); 豊田市寺部池 (豊田市, 2005); 豊田市木瀬町横枕, 豊田市小原町尾崎 (豊田市, 2015).

引用文献

- Habu, A., 1956. On the Genera and Species of the Oodini (Coleoptera, Carabidae) from Japan. *Bull. Nat. Inst. Agri. Sci., Ser. c*, (6): 75-101.
- Habu, A. and Baba, K., 1960. One new species of *Oodes* from Niigata prefecture, Japan (Coleoptera, Carabidae). *Akitu*, (9): 31-33.
- 穂積俊文, 1961. 東海甲虫誌 (10). 佳香蝶, **13**(46): 61-82.
- 岩崎 博・蟹江 昇, 1990. 愛知県のオサムシ類. 愛知県の昆虫, 上, 愛知県昆虫分布研究会, 名古屋, 309-338.
- 蟹江 昇, 1996. オサムシ科 CARABIDAE. 稲武町教育委員会 (編), 稲武町誌, 自然, 資料編, 180-187.
- 蟹江 昇, 2001. 旭町の甲虫目. 名古屋昆虫同好会 (編), 旭町の昆虫, (財) 旭高原自然活用村協会, 旭, 89-173.
- 森 正人, 2011. 兵庫県のトックリゴミムシ類. きべりはむし, **34**(1): 9-11.
- 中根猛彦, 1986. 日本の甲虫 (73). 昆虫と自然, **21**(4): 18-24.
- 大平仁夫・蟹江 昇・河路掛吾・長谷川道明・松野更一・山崎隆弘, 1996. 第4節昆虫類 (8) 甲虫類. 設楽の自然調査会 (編), 設楽町誌自然編資料, 北設楽郡設楽町, 設楽, 449-551.
- 高橋 昭, 2001. 戦中戦後の穂積俊文さん. 東海甲虫誌, 穂積俊文博士記念論文集, 穂積俊文博士記念論文集発行事業会, 豊橋, 348-349.
- 豊田市, 2005. V 昆虫類. 豊田市自然環境基礎調査報告書 (資料編), 豊田市, 豊田, 105-386.
- 豊田市, 2015. 豊田市自然環境基礎調査報告書 (資料編), 豊田市, 豊田, 印刷中.
- 吉鶴靖則・森 勇一・田中雄一, 2008. 3 コウチュウ目. 新修名古屋市史資料編編集委員会 (編), 新修名古屋市史資料編自然目録, 名古屋市, 名古屋, 102-165.